

アンケート調査結果概要

(案)

2011年2月28日

アライド・ブレインズ株式会社

1. 構成員アンケート 調査結果

調査概要

調査対象者： 研究会構成員
実施期間： 平成23年1月7日～1月31日
回収数： 17件

調査結果

1. 奥能登の社会的課題9テーマの中で、ICT利活用による課題解決を優先的に検討すべきテーマ

医療・保健・福祉の確保充実	10件
観光の振興	8件
地域住民の安心・安全の確保	7件
超高齢化を支える地域づくり	7件
日常生活の基盤の確保	5件
地域産業創出、ブランド化	4件
コミュニティ活動等の活性化	3件
農林水産業の新たな展開	1件
「その他の課題」へのコメント	5件

「その他の課題」(要約版)

- ・若者や働く世代にターゲットを置いて開始し、その後高齢者に対象を広げれば、若者世代の協力が得られる。地域にお金落ちる仕組みが必要。
- ・地域間の連携が必要。意欲ある地元の方々とも問題意識を共有すべき。
- ・情報通信サービスの地域格差
- ・医療機関同士の連携、常時通院が困難な環境の住民の安全確認等が不十分
- ・高次機能病院との遠隔医療システム、在宅療養を支援するシステムが未整備

2. ICT利活用プロジェクトのアイデア

「医療・保健・福祉の確保充実」関連

課題	広域医療連携、遠隔医療
プロジェクト概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆穴水総合病院と診療所等を結び、必要に応じて電子カルテの情報を共有(能越ケーブルネット) ◆患者情報を中核病院のサーバ等に保存し、各診療所からもブラウザ経由で利用できるようにする(北陸通信ネットワーク) ◆奥能登4病院の役割分担を明確にし、遠隔医療により、石川中央医療圏医療機関の高次医療機能を含む限られた医療資源を活用する。(穴水総合病院)
システムイメージ	診療所と病院を専用線で結ぶ(検査データ・画像も含め共有) 電子カルテ共有システム 診療情報共有+テレビ電話システム

課題	救急医療
プロジェクト概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆救命救急時に、搬送時の状況や搬送後の緊急措置等を支援する。搬送時の患者情報を搬送先病院に伝送、搬送先病院内の画像データを外出中の専門医に伝送、など。(KDDI)
システムイメージ	WiMAX等で救急車内の画像データ、バイタルデータを伝送。GPSで救急車の位置情報を確認

課題	在宅医療、予防医療
プロジェクト概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆在宅療養を拡大し、高齢者世帯の安全見守り、訪問看護・介護を充実させる(穴水総合病院) ◆在宅療養の患者宅にTV電話システムや健康管理機器類を設置する。公民館などへの巡回診療、集団的健康管理体制も考慮する。多くの公民館ではCATVが接続可能で、これを活用することも考えられる。(穴水総合病院) ◆都市部在住の専門スタッフが、ネットワークを通じて高齢者の健康管理・定期指導を実施し、心身の健康状態把握、コミュニケーション補完等を行う(KDDI)
システムイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の電子カルテシステムと、必要な情報共有や連動が可能なシステム。病院、診療所、訪問看護・介護、施設等との情報連携を実現 ・患者宅(困難な場合は公民館等)にはテレビ電話システムや健康管理機器類を設置

2. ICT利活用プロジェクトのアイデア

「地域住民の安心・安全の確保」関連

課題	安心・安全、高齢者みまもり
プロジェクト概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆高齢者支援レスキュー: デジタル弱者の高齢者も簡単に使える端末でネットワークを構築し、生活支援を行う。外出時の居場所確認にはGPS付き小型端末を用意 (NHK) ◆地域に密接に関係する各種サービスを一体的に扱うための共通プラットフォームを構築し、安心・安全・快適な生活をサポート <ol style="list-style-type: none"> 1)ヘルスケア(携帯でデータ測定)、2)生活支援(宅配)、3)娯楽(通信カラオケ等) (ソフトバンクモバイル) ◆災害等緊急時にはエリアワンセグ端末にプッシュで情報配信する (KDDI)
システムイメージ	

「観光振興」関連

課題	広域観光振興・観光情報の集約化
プロジェクト概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆散在する観光サイトを集約して、広域的なポータルサイトを立ち上げる。CATVの広域連携を図り、データ放送システムを構築する 観光情報の更新はCMSで行い、回遊性を高める(能越ケーブルネット)
システムイメージ	観光ポータルサイト CATVデータ放送(コミュニティチャンネル)

課題	観光振興
プロジェクト概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆交通機関でのエリアワンセグによる観光情報提供。電車やバスの中でワンセグによる観光情報を発信することで、移動中の情報収集を可能にする(テレコム協会) ◆ワンセグ端末を活用し、映像を含めた観光情報等がいつでも手元で入手できる(KDDI) ◆体験型ツアー、学生の合宿等の施策により、金沢の観光客を能登まで誘致(情報システム工業会)
システムイメージ	電車内に発信機を設置すれば、山間部やトンネル内でもコンテンツ視聴が可能では

2. ICT利活用プロジェクトのアイデア

「コミュニティ活動等の活性化」関連

課題	コミュニティの維持・活性
プロジェクト概要	<p>◆孤立・孤独を防ぐため、人と人が繋がる仕組みを作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日同じ時間に集まって体操（行けない人は家でエリアワンセグ映像を見ながら） ・タクシーを乗りあわせて一緒に買物に行く。タクシーが来る時間はエリアワンセグで通知。行けない人は他の人に頼む。 ・毎月集まって、おばあちゃんから奥能登の郷土料理を習って作る。エリアワンセグで試食のお知らせやレシピを配信（パステルラボ） <p>◆困りごと解決プロジェクト</p> <p>地域住民が、何に困りごとがあるかを考える必要がある。いろいろな世代の地域の人々とコミュニケーションする必要がある。</p> <p>地域の情報はプッシュ型が必要。必要な生活情報、サービスをプッシュ型で提供する。 （サイバーステーション）</p> <p>◆地域活動担い手不足解消</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史・文化遺産を電子アーカイブ化 ・CATVコミチャンでイベント情報配信、配信済みコンテンツの共有CMS構築 → 新たなコミュニティ創出、地域活動担い手育成（能越ケーブルネット）
システムイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアワンセグだけでなく、有線無線関係なく有効活用 ・タクシー等の移動手段とワンセグを組み合わせ、機動力強化 ・使いやすい端末、地元の人が先生になる講習会等の工夫

「日常生活の基盤の確保」関連

課題	地域サービスの見直し
プロジェクト概要	<p>◆GPSログを使った居住者の行動分析による地域サービスの見直し・提供</p> <p>居住者の生活行動パターンを分析した上で、公共インフラの見直し、ロケーションサービスの提供、クラスタ単位での商業規模の拡大、観光客集客等につなげる。</p>
システムイメージ	<p>乾電池駆動のGPSロガーを使った実証実験。電池交換スポットでデータを吸い上げる。エリアワンセグ実証実験前後で行動パターンを比較する、等。</p>

3. ICT利活用プロジェクト実施に際して国に期待する役割

資金援助、インフラ整備

費用面の支援・補助

無線LAN等のネットワーク整備

法制度等の整備

医療情報システム等の標準化検討

救急情報配信の共通仕様策定・検証プロジェクト

患者情報取り扱いに関する課題の整理

遠隔医療・予防医療相談を医療行為と認定するための措置

運営体制に関する支援

地元の若者を運営に充てるための支援

先行事例との仲介

2. 自治体アンケート 調査結果

調査概要

調査対象者： 奥能登2市2町
 実施期間： 平成23年1月7日～1月31日
 回収数： 4件

テーマ1： 超高齢化を支える地域づくり

問1 奥能登地域で生じていると思われる課題の想定例(地域の実情との整合性)

想定する課題の内容	合っている	部分的に合っている	合っていない
奥能登地方は各市町とも高齢化率が4割前後に達し、支援を要する高齢者も増加。	4		
介護サービスの充実だけでなく、高齢者の健康・安心・暮らしを守る総合的な取り組みが必要。	4		
介護資源に限られる中、山間部や限界集落へのサービス提供の負担が増大。	4		

1-2 想定内容が実情と異なっている点、想定に描かれていない重要な課題や問題

家庭の介護の担い手が不足し、老々介護状態。在宅介護サービスの提供者が不足気味

問2 課題・問題に対する地域での取組例のうち、既に取り組んでいるもの、今後取り組んでいきたいもの

課題に対する施策・取組例	既に取り組んでいる	今後取り組みたい	今後特に注力したい
住民参加による高齢者見守り	1	2	
高齢者の健康増進、介護予防活動	3		
介護サービスの充実、サービス資源の確保	3		
山間部等での介護サービス確保	3		
保健・医療・介護が連携した高齢者支援	2		1
高齢者の社会参加、生きがいづくり	3		

2-2 上記に含まれない高齢者支援の取組

在宅生活困難者の養護老人ホーム入所の早期対応

問3 課題・問題解決に資するICT利活用例のうち、既に取り組まれているもの、課題解決に特に役立つと思うもの

ICT(情報通信)の利活用の例	既に取り組んでいる	課題解決に役立つと思う
介護・保健・医療関係者がテレビ電話で在宅高齢者とコミュニケーションし、見守りを行う。		2
高齢者が在宅で簡単に健康データを測定し、データは保健所等に自動送信される。		
訪問介護のスタッフが記録した高齢者の様子・状況等を必要な関係者と情報共有する。	2	
高齢者が簡単に使えるタッチ式の情報端末で、テレビ電話や様々なコンテンツ、サービスを利用できる。		3

3-2 既に進めているICT利活用の取組で、上記に該当しないもの

近くに親戚が居ない一人暮らしの希望者に救急通報装置を設置(高齢者の安否確認)

3-3 上記以外に、このテーマに関して検討したいICT利活用のイメージ

操作方法が高齢者にとって複雑なものであると、利活用に結びつかない。高齢者が日常的に利用している物(テレビや電子ポット等)を利用し、簡易な操作方法であれば可能性がある。ICT利用により、例えば在宅の訪問対応をする必要が出てくるならば、対応できる体制に整えた上で導入を進める必要がある。

テーマ2： 医療・保健・福祉の充実

問1 奥能登地域で生じていると思われる課題の想定例(地域の実情との整合性)

想定する課題の内容	合っている	部分的に合っている	合っていない
医師・医療スタッフの不足が発生し、地域医療の維持や確保が難しくなっている。	4		
住民の健診受診率が低く、生活習慣病が増加している。	4		
障害者の生活環境整備や社会参加が不十分である。	2	2	

問2 課題・問題に対する地域での取組例のうち、既に取り組んでいるもの、今後取り組んでいきたいもの

課題に対する施策・取組例	既に取り組んでいる	今後取り組みたい	今後特に注力したい
中核病院と診療所等の連携強化	3		
在宅医療、訪問看護サービスの強化	3		
地域外の中核病院との広域連携による専門医療の確保	1	2	
住民の健康意識を高め、健診受診率等を高める取組	3		
街や公共施設のバリアフリー化	2		
障害者の外出に役立つバリアフリー情報の整備		2	

問3 課題・問題解決に資するICT利活用例のうち、既に取り組まれているもの、課題解決に特に役立つと思うもの

ICT(情報通信)の利活用の例	既に取り組んでいる	課題解決に役立つと思う
住民の健康情報を本人と保健・医療機関で共有し、健康増進等に有効活用する。		3
病院と診療所を結び、電子カルテの情報を共有して円滑な医療サービスを提供する。		3
テレビ電話等による在宅遠隔医療		3
遠隔地の専門医療機関と地域医療機関を結んだ遠隔医療	1	3
住民が情報登録できる電子バリアフリーマップによって、障害者の外出に役立つ情報を提供する。		3

テーマ3： 地域住民の安心・安全の確保

問1 奥能登地域で生じていると思われる課題の想定例（地域の実情との整合性）

想定する課題の内容	合っている	部分的に合っている	合っていない
高齢者を狙った犯罪、高齢者の交通事故が増加している。	3	1	
山間部における緊急搬送体制が確保できない。	1	1	2
高齢化や過疎により、地域の自治力が低下している。	4		

問2 課題・問題に対する地域での取組例のうち、既に取り組んでいるもの、今後取り組んでいきたいもの

課題に対する施策・取組例	既に取り組んでいる	今後取り組みたい	今後特に注力したい
高齢世帯・高齢独居者の緊急避難方策	3	1	
高齢者の防災・防犯・安全意識を高める	3	1	
過疎地の防犯・監視体制の確保	3	1	
住民参加と地域支え合いの防災対策	4		
山間部における消防、緊急機能の整備	3	1	
災害時の広域連携、近隣市町同士の応援体制の整備	3	1	
緊急時における情報伝達手段の確保	3	1	

問3 課題・問題解決に資するICT利活用例のうち、既に取り組まれているもの、課題解決に特に役立つと思うもの

ICT(情報通信)の利活用例	既に取り組んでいる	課題解決に役立つと思う
緊急時や災害発生時に、確実に・わかりやすく・簡単に、必要な情報をリアルタイムで住民に提供する。	3	
防犯・防災対策カメラやセンサーのネットワークで情報収集し、危険を早期に発見・対処する。		1
子供やお年寄りの現在位置を把握できる見守りシステムにより、異常を早期に発見し対処する。		3
災害発生時における近隣市町等との情報連携を強化し、機動的な災害復旧を可能にする。	3	

テーマ4： 日常生活の基盤の確保

問1 奥能登地域で生じていると思われる課題の想定例(地域の実情との整合性)

想定する課題の内容	合っている	部分的に合っている	合っていない
郊外型大型店の出店等により、地元商店が減少し、買い物弱者が増加している。		3	
鉄道の廃線、バスの路線や運行本数の縮小により公共交通網が衰退している。	4		
携帯電話不感地帯が存在する。	2	1	1
上下水道やごみ収集などのライフラインの安定維持が困難。	1	2	

問2 課題・問題に対する地域での取組例のうち、既に取り組んでいるもの、今後取り組んでいきたいもの

課題に対する施策・取組例	既に取り組んでいる	今後取り組みたい	今後特に注力したい
通学、通院、買い物のための公共交通ネットワークの形成と維持	4		
地元商店の活性化	1		2
買い物弱者対策、安定した買い物機会の提供	2	1	
高度情報通信網の整備	4		
高次道路交通網の整備	1		

問3 課題・問題解決に資するICT利活用例のうち、既に取り組みされているもの、課題解決に特に役立つと思うもの

ICT(情報通信)の利活用例	既に取り組んでいる	課題解決に役立つと思う
バスなど公共交通のリアルタイム運行情報を利用者に提供し、利用者の利便性を高める。		1
乗り合いタクシーやバス乗車の予約機能を提供して、利用者の利便と効率的な運行を両立させる。	2	
地域の商店と高齢者宅を結び買い物注文宅配サービスによって、来店困難な高齢者の買い物手段を確保。		
外出が困難な高齢者や役所が遠い住民等へ、電子行政による24時間行政サービスを提供。		

テーマ5：子育て環境と教育の充実

問1 奥能登地域で生じていると思われる課題の想定例(地域の実情との整合性)

想定する課題の内容	合っている	部分的に合っている	合っていない
出生率が低下している。	4		
少子化に伴い、家族間交流の機会が減少している。	1		2
児童数の減少により、学校の小規模化、更には統廃合や廃校が進んでいる。	4		
学校施設の老朽化が進んでいる、耐震対策が十分できていない。		3	1

問2 課題・問題に対する地域での取組例のうち、既に取り組んでいるもの、今後取り組んでいきたいもの

課題に対する施策・取組例	既に取り組んでいる	今後取り組みたい	今後特に注力したい
地域で子育てを支援する仕組みづくり	3		
子育てについての経験や知恵の伝承・共有	2		1
子ども同士が触れ合う機会の減少による弊害対策	3		
小規模校での学校行事や部活動、地域における集団活動(スポーツ団や伝統行事等)の維持	3		
登下校時の見守り活動の担い手確保	1		2

問3 課題・問題解決に資するICT利活用例のうち、既に取り組みされているもの、課題解決に特に役立つと思うもの

ICT(情報通信)の利活用例	既に取り組んでいる	課題解決に役立つと思う
子供の現在位置を家族が確認し、登下校時等の子供の安全確認を行う。		3
保育園、幼稚園等のライブカメラ映像で、両親が携帯で子どもの様子を見たり知ることができるようにする。		
全国の学校や海外の子供とのネット交流、多彩な電子教材利用等で小規模校のハンディを解消する。		
電子連絡帳を使った子育て情報の提供、子育て相談の受け付け等、母親の子育てを常時支援する。		

テーマ6: コミュニティ活動等の活性化

問1 奥能登地域で生じていると思われる課題の想定例(地域の実情との整合性)

想定する課題の内容	合っている	部分的に合っている	合っていない
高齢化により、地域活動の担い手が不足している。		4	
これまで地域住民が担ってきた地域文化・伝統芸能・風習等が継承されにくくなっている。	1	3	
世代間交流の機会が減少している。	3	1	
生活様式の多様化や核家族化、過疎化などにより、地域イベント等への参加者が減少している。	3	1	

問2 課題・問題に対する地域での取組例のうち、既に取り組んでいるもの、今後取り組んでいきたいもの

課題に対する施策・取組例	既に取り組んでいる	今後取り組みたい	今後特に注力したい
少子・高齢社会に対応した新たなコミュニティや地域福祉の仕組みの構築		1	3
歴史的町並みや自然景観の保全	3	1	
伝統芸能・風習の継承の支援	3	1	
高齢者の社会参加機会の増大	2		2
高齢者の生きがいづくり	4		
元気な高齢者の知恵・人脈の活用	4		

問3 課題・問題解決に資するICT利活用例のうち、既に取り組まれているもの、課題解決に特に役立つと思うもの

ICT(情報通信)の利活用例	既に取り組んでいる	課題解決に役立つと思う
地域の人々がテレビ会議やSNSで簡単に情報交換や交流を行い、様々な地域活動を展開する。		2
お祭りなど地域のイベント情報や映像等を配信して、イベントの参加者、協力者を集める。	2	2
歴史的・文化的遺産の電子アーカイブ化、eラーニング教材の制作等により、伝統文化の継承を支援する。	2	2
生涯学習講座を映像記録・配信し、外出が困難な高齢者や遠隔地の住民も受講できるようにする。		3

テーマ7： 農林水産業の新たな展開

問1 奥能登地域で生じていると思われる課題の想定例(地域の実情との整合性)

想定する課題の内容	合っている	部分的に合っている	合っていない
就業者の高齢化や後継者不足・担い手不足が進んでいる。	1		
耕作放棄地の拡大、森林の荒廃、港湾水質の悪化等が進んでいる。	1	3	
輸入品の増加と価格低下により、従事者の収入が減少している。		4	

問2 課題・問題に対する地域での取組例のうち、既に取り組んでいるもの、今後取り組んでいきたいもの

課題に対する施策・取組例	既に取り組んでいる	今後取り組みたい	今後特に注力したい
地産地消の推進	4		
ツーリズムやイベント等を活かした観光農業や観光漁業の展開	3	1	
集団化や法人経営による集積化と効率化、省力化の推進	3	1	
新たな特産品の開発、既存製品の品質管理の徹底による地域ブランドの確立	4		
U・Iターン等による担い手の確保と育成		4	

問3 課題・問題解決に資するICT利活用例のうち、既に取り組まれているもの、課題解決に特に役立つと思うもの

ICT(情報通信)の利活用例	既に取り組んでいる	課題解決に役立つと思う
生産者の横顔や生産・収穫状況の映像を配信し、安全・安心・高品質な地産品のイメージアップにつなげる。		4
インターネットや放送を利用した通信販売などにより、全国・販路の拡大を図る。	1	
農地の耕作状況、市況情報、気象情報などをリアルタイムに伝え、生産や出荷調整等に役立てる。		2
地図情報システムを用いた農地管理や、インターネットを利用したトレーサビリティシステムにより効率的な生産につなげる。		1

テーマ8： 地域の産業創出、ブランド化

問1 奥能登地域で生じていると思われる課題の想定例(地域の実情との整合性)

想定する課題の内容	合っている	部分的に合っている	合っていない
海外との競争や景気の低迷により、売上が減少している。		3	
付加価値の競争力が低下し、結果収益率が低下している。		1	2
就業者の高齢化や後継者不足・担い手不足が進んでいる。	3		
地理的条件や社会的条件により輸送コストや整備費がかさみ、企業進出が進まない。	3		

問2 課題・問題に対する地域での取組例のうち、既に取り組んでいるもの、今後取り組んでいきたいもの

課題に対する施策・取組例	既に取り組んでいる	今後取り組みたい	今後特に注力したい
地域独自の自然環境や資源、動植物等を活用した新産業の発掘・育成	2	1	
地域資源を活かした新たな特産品の開発、地域ブランドの確立と販路の拡大	1		2
地域ブランドの国内・海外における認知度の向上、そのための情報発信		1	2
元気な高齢者の働く場の創出			3
高齢者の知恵や経験を生かした産業支援			3
能登空港を活用した新たな企業誘致・市場の拡大		1	2

問3 課題・問題解決に資するICT利活用例のうち、既に取り組まれているもの、課題解決に特に役立つと思うもの

ICT(情報通信)の利活用例	既に取り組んでいる	課題解決に役立つと思う
地場企業、地産品ホームページの多言語化など、海外に向けた積極的な情報発信により販路を拡大する。		
奥能登のどこからでも受講できるオンライン経営塾等により、地域に起業家マインドを育成する。		1
インターネットを活用して、地場企業の新製品・有力製品の共同プロモーションを行う。		1
地域産業を担ってきた高齢者の技能、ノウハウを記録・共有して、新しい特産品開発につなげる。		

テーマ9： 観光の振興

問1 奥能登地域で生じていると思われる課題の想定例(地域の実情との整合性)

想定する課題の内容	合っている	部分的に合っている	合っていない
観光客数が伸び悩んでいる。	3	1	
観光情報サイトは多数あるが、まとまりがなく乱立気味である。	3	1	
観光施設の老朽化等、新たな観光の魅力づくりが問われる状況。	3	1	

問2 この課題・問題に対する、地域での取組の例を挙げます。この中で、貴自治体が行っているもの、今後取り組んでいきたいものをお答えください。(該当する欄に○)

課題に対する施策・取組例	既に取り組んでいる	今後取り組みたい	今後特に注力したい
四季折々の食材を使った地域食文化の発信	4		
類似施設や老朽化施設の統廃合やリニューアルによるイメージアップ		3	
地域資源を活用したグリーンツーリズムやエコツーリズムなど新しい旅行のあり方についての提言とその構築	2	1	
近隣市町との連携による広域観光ルートや、観光メニューの創出	3	1	
鉄道に代わる観光客向け交通手段の確保		4	

問3 課題・問題解決に資するICT利活用例のうち、既に取り組まれているもの、課題解決に特に役立つと思うもの

ICT(情報通信)の利活用の例	既に取り組んでいる	課題解決に役立つと思う
奥能登全体が連携した総合観光資源(食べる・見る・遊ぶ・学ぶ・体験する・泊まる等)の情報発信を行う。	2	2
伝統芸能や風習のアーカイブ化。奥能登ならではの話題づくりにつながる情報発信を行う。	2	2
来訪した観光客向けに、観光イベント情報、クーポン券等の発行・配信を行い、現地での回遊性を高める。	1	3
バスやタクシー、レンタカー等のリアルタイム運行情報や予約機能提供等により、観光客の利便性を高める。	1	3